



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月2日

上場会社名 TOA株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6809 URL http://www.toa.co.jp/  
 代表者 (役職名)代表取締役会長兼社長 (氏名)井谷 憲次  
 問合せ先責任者 (役職名)管理本部経理部長 (氏名)吉田 圭吾 (TEL) (078) 303-5620  
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	29,327	△8.7	1,344	△35.4	1,477	△30.5	775	△38.6
28年3月期第3四半期	32,125	5.9	2,081	△10.4	2,124	△23.7	1,263	△27.4

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 △682百万円(—%) 28年3月期第3四半期 1,196百万円(△61.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	22.90	—
28年3月期第3四半期	37.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	51,115	40,025	75.0
28年3月期	52,865	41,572	75.0

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 38,314百万円 28年3月期 39,667百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	10.00	—	12.00	22.00
29年3月期	—	10.00	—		
29年3月期(予想)				10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

28年3月期配当金の内訳 安定配当20円 業績連動配当2円

29年3月期配当金(予想)につきましては、平成28年5月6日に「平成28年3月期決算短信」にて公表したとおり、安定配当20円に業績を加味して、連結配当性向35%を目安に決定いたします。

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,200	0.8	3,650	0.3	3,700	2.1	2,150	2.7	63.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

29年3月期3Q	34,536,635株	28年3月期	34,536,635株
29年3月期3Q	674,095株	28年3月期	673,877株
29年3月期3Q	33,862,620株	28年3月期3Q	33,863,273株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く環境は、国内では企業収益や雇用環境の改善があり、米国や欧州経済では緩やかな回復が見られた一方、中国経済の成長鈍化や米国新政権の動向など先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の下、当社グループは、企業価値である「Smiles for the Public ——人々が笑顔になれる社会をつくる——」を実現するため、社会の安全・安心に役立てる製品やサービスの創造に注力しております。世界5地域における開発・生産・販売の推進を継続するとともに、商品開発の迅速化を進め、新商品をタイムリーに投入出来るよう努めております。

当第3四半期連結累計期間における売上高は29,327百万円（前年同四半期比△2,797百万円、8.7%減）となりました。営業利益は1,344百万円（前年同四半期比△736百万円、35.4%減）、経常利益は1,477百万円（前年同四半期比△647百万円、30.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は775百万円（前年同四半期比△488百万円、38.6%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(日本)

売上高は18,150百万円（前年同四半期比△956百万円、5.0%減）、セグメント利益（営業利益）は2,906百万円（前年同四半期比△296百万円、9.3%減）となりました。

教育市場向けの放送設備や、自治体向けの減災・防災放送設備の販売が増加しました。また、屋外ドームカメラ一体型レコーダー「タウンレコーダー」の販売は好調でしたが、セキュリティ商品全体では売上高が減少したこと、駅舎や鉄道車両などの交通市場向け商品の売上高が減少した影響を受け、売上高、セグメント利益は減少しました。

(アメリカ)

売上高は2,428百万円（前年同四半期比△664百万円、21.5%減）、セグメント利益（営業利益）は44百万円（前年同四半期比△38百万円、46.5%減）となりました。

北中米で官公庁や教育市場向けの売上高は増加しましたが、前年同四半期にアメリカの鉄道車両向けに大口の売上高があった影響などにより、売上高、セグメント利益は減少しました。

(欧州・中東・アフリカ)

売上高は3,289百万円（前年同四半期比△599百万円、15.4%減）、セグメント利益（営業利益）は253百万円（前年同四半期比△147百万円、36.8%減）となりました。

アフリカでの販路拡充や空港向け大口販売により売上高は増加しましたが、欧州や中東で減収となったことに加え、円高・ユーロ安の影響などにより、売上高は減少しました。また、欧州での販路拡充に向けた販管費増加などにより、セグメント利益は減少しました。

(アジア・パシフィック)

売上高は4,372百万円（前年同四半期比△197百万円、4.3%減）、セグメント利益（営業利益）は471百万円（前年同四半期比△87百万円、15.7%減）となりました。

デジタルPAアンプなどの地域商品の売上高が伸長しました。インドネシアやベトナムでの販売が堅調に推移したことに加え、タイで駅舎向けの売上高が増加しましたが、為替円高による売上高の目減りのため、売上高、セグメント利益は減少しました。

(中国・東アジア)

売上高は1,086百万円（前年同四半期比△379百万円、25.9%減）、セグメント利益（営業利益）は189百万円（前年同四半期比△153百万円、44.7%減）となりました。

商業施設向けの放送設備を中心に台湾での販売は堅調に推移しましたが、中国での売上高が減少したことなどにより、売上高、セグメント利益は減少しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は51,115百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,749百万円の減少となりました。資産の部における減少の要因は、売上債権の減少などによります。負債及び純資産の部における減少の要因は、仕入債務の減少、為替円高に伴う為替換算調整勘定の減少などによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の通期の業績予想につきましては、平成28年8月2日に公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」の業績予想から変更していません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

・税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間から適用し、平成28年4月1日以後に取得した構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	15,283	14,677
受取手形及び売掛金	9,827	7,725
有価証券	3,500	3,500
商品及び製品	5,473	6,042
仕掛品	1,003	1,078
原材料及び貯蔵品	2,303	2,342
その他	1,075	1,609
貸倒引当金	△90	△67
流動資産合計	38,376	36,908
固定資産		
有形固定資産	6,547	6,224
無形固定資産	1,512	1,439
投資その他の資産		
投資有価証券	5,600	5,684
投資その他の資産	866	876
貸倒引当金	△37	△18
投資その他の資産合計	6,429	6,543
固定資産合計	14,489	14,207
資産合計	52,865	51,115
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,616	3,501
短期借入金	1,083	1,358
未払法人税等	211	172
引当金	210	161
その他	1,962	1,758
流動負債合計	7,083	6,953
固定負債		
退職給付に係る負債	2,791	2,705
その他	1,416	1,431
固定負債合計	4,208	4,136
負債合計	11,292	11,089
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,279	5,279
資本剰余金	6,866	6,866
利益剰余金	24,925	24,955
自己株式	△393	△393
株主資本合計	36,678	36,708
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,273	3,349
繰延ヘッジ損益	-	△2
為替換算調整勘定	△155	△1,670
退職給付に係る調整累計額	△129	△68
その他の包括利益累計額合計	2,989	1,606
非支配株主持分	1,905	1,711
純資産合計	41,572	40,025
負債純資産合計	52,865	51,115

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	32,125	29,327
売上原価	18,537	16,560
売上総利益	13,587	12,767
販売費及び一般管理費	11,506	11,422
営業利益	2,081	1,344
営業外収益		
受取利息	29	23
受取配当金	66	79
その他	97	77
営業外収益合計	193	180
営業外費用		
支払利息	17	18
為替差損	110	15
その他	21	12
営業外費用合計	149	47
経常利益	2,124	1,477
税金等調整前四半期純利益	2,124	1,477
法人税等	648	481
四半期純利益	1,476	995
非支配株主に帰属する四半期純利益	212	219
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,263	775

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	1,476	995
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	441	75
繰延ヘッジ損益	-	△2
為替換算調整勘定	△765	△1,808
退職給付に係る調整額	44	58
その他の包括利益合計	△279	△1,677
四半期包括利益	1,196	△682
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,145	△607
非支配株主に係る四半期包括利益	50	△74



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)	四半期連 結損益計 算書計上 額
	日本	アメリカ	欧州・中東 ・アフリカ	アジア・パ シフィック	中国・ 東アジア	計		
売上高								
外部顧客への売上高	19,106	3,092	3,889	4,570	1,466	32,125	—	32,125
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,879	10	3	3,385	2,859	11,137	△11,137	—
計	23,986	3,103	3,892	7,955	4,325	43,263	△11,137	32,125
セグメント利益 (営業利益)	3,202	82	401	558	342	4,588	△2,506	2,081

(注) セグメント利益の調整額△2,506百万円には、セグメント間取引消去△37百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,469百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)	四半期連 結損益計 算書計上 額
	日本	アメリカ	欧州・中東 ・アフリカ	アジア・パ シフィック	中国・ 東アジア	計		
売上高								
外部顧客への売上高	18,150	2,428	3,289	4,372	1,086	29,327	—	29,327
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,299	20	4	2,837	2,607	9,770	△9,770	—
計	22,450	2,448	3,294	7,210	3,694	39,097	△9,770	29,327
セグメント利益 (営業利益)	2,906	44	253	471	189	3,864	△2,520	1,344

(注) セグメント利益の調整額△2,520百万円には、セグメント間取引消去41百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,562百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用であります。